

深大寺は、聖武天皇の天平5年(733)の創建であり、東京では浅草寺に次いで古い寺です。開祖の満功上人の恋物語を機に創建されたことから縁結びの寺として有名。参加者は孫の好縁を願って参拝したでしょう。1865年の大火から免れた山門を出発点として、本堂・元三大師堂その他主な建物・歌碑・句碑を巡りました。特に、参拝すれば10年は寿命が延びるといわれている延命観音には丁重にお参りをしました。

深大寺のすぐ傍に青渭(あおい)神社という古い神社があり、参拝者は非常に少ないけれども、門前の櫓は稀に見る見事な大木です。

当地の地質は米作りには適しておらず、そばに向いていたことから、江戸時代から深大寺そばとして有名ですが、今は北海道産のそば粉がかなり多い・・・といういささか興ざめなガイドの話も聞いて、やはり食べようということで昼食。冷たいビールや熱燗で一杯とそれぞれに体力を補強。

植物園では6人ずつ3班に分かれ、それぞれにガイドがついてスタート。昭和36年に開園され、15万坪弱で約4,800種の都内随一の神代植物公園は、梅が満開の絶好のタイミングでした。数十種の梅を一度に見ることなどは滅多にないことであり、花だけでなく、その香りも存分に楽しみました。花粉症で香りがダメだった人が若干居たのはお気の毒でした。さらに、遅咲きの椿や満開の河津桜、その他大小の草木の説明を聞きながら園内を一巡し、最後に展示室で約50cmの額に入った押し花の絵の展覧会があり、花の色が生のままなのに驚ろかされました。

約8,000歩・5時間の散策で少々疲れながらも、好天に恵まれた春の一日でした。

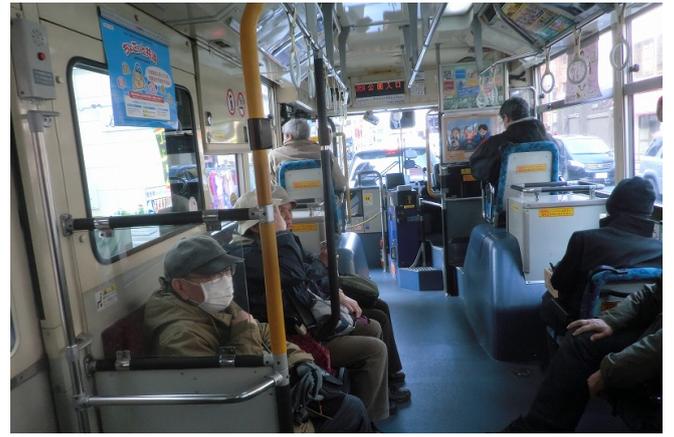
参加者(敬称略) 岩崎正憲 岩田芳秀 遠藤哲也 小口健一郎 小澤敏宣 川上昇
川島省三 川股賢三 木頃勝紀 白岩仙一 住田勝治 田代周 野田佑
橋本裕一郎 古屋榮三 牧田賢二 山田昌之 湯浅尋夫 六角学



第6回 歴史&ハイキング愛好会例会

深大寺「青渭神社」境内で 平成27年3月14日(土)

* JR 吉祥寺駅よりバスで「深大寺」に向かう



* ボランティアの方から、深大寺おすすめ散策コースの説明を受ける





* 都立神代植物公園内を、ボランティアの方から説明を受けながら散策

